

2026年7月1日

スカンジナビア航空が A330neo を 18 機発注

エアバス（本社：仏トゥールーズ、最高経営責任者：ギヨム・フォーリ）は 30 日（コペンハーゲン時間）、スカンジナビア航空（SAS）が機材更新戦略の一環で A330-900 を 18 機確定発注したことを発表しました。コペンハーゲンで契約締結式典が開催され、SAS のアンコ・ファン・デル・ヴェルフ最高経営責任者（CEO）と、エアバスのブノワ・ド＝サンテグジュペリ民間航空機ビジネス営業部門エグゼクティブ・バイス・プレジデントが出席しました。

発注された A330neo は、SAS が現在進める国際路線ネットワークの拡大に寄与し、同社の既存の高需要路線の増便や、新規路線の開設を可能にします。

最新世代のロールス・ロイス社製 Trent 7000 エンジンを搭載した A330neo は、最大 8,100 海里/15,000 キロをノンストップで飛行することができます。前世代の競合機と比較して、燃料消費量、CO₂排出量、運航コストを 25%削減します。受賞歴のある革新的客室「Airspace」を装備し、新しいレベルの快適性を提供します。

すべてのエアバス機と同様に、A330neo は持続可能な航空燃料（SAF）を最大 50%使用して飛行することができます。エアバスは 2030 年までに全エアバスファミリー機で SAF を 100%使用した運航の実現を目指しています。

A330 ファミリーは 2026 年 5 月末時点で、世界中の 133 社から 1,950 機以上の受注を獲得しています。

Newsroom

リリースに関するお問い合わせ先：エアバス・ジャパン株式会社

藤宗宇多子
03-5775-0133
utako.fujiso@airbus.com

野坂孝博
03-5775-0129
takahiro.nosaka@airbus.com

Follow us



If you wish to update your preferences to Airbus Communications, media@airbus.com
If you no longer wish to receive communications from Airbus, media@airbus.com